

「勝利のため頑張る」

光星応援隊230人 甲子園へ

第101回全国高校野球選手権で、6日午前の開幕直後に初戦を迎える八学光星の応援隊約230人が5日、甲子園球場に向けてバス6台で八戸市の同校を出発した。

応援隊は1〜3年生の希望者、吹奏楽部、チアリーディング部、教職員らで構成。同校玄関前で行った出発式で、中村良寛教頭が「開幕試合ということで全国の話題をさらっており、地元も盛り上がっている。暑い中だが、全力で応援して次の舞台につないでほしい」と激励。生徒を代表して保育福祉科3年の小島ちひろさんが「野球部の勝利のために精いっぱい応援し、必ず2回戦に進出させるよう頑張ります」

一行は、6日午前7時ごろに甲子園に到着。スタンドから開会式を見た後、午前10時半開始予定の菅（愛知）戦でサインに声援を送る。

（月館慎司）



出発式で中村教頭(右)に応援の意気込みを語る小島さん